

1 単元 音読げきをしよう

2 教科の目標

登場人物の気持ちを考えながら工夫して音読をすることができる。

3 活用したICT

電子黒板

4 活用したICTの工夫

- ・ 登場人物のせりふが、誰のせりふなのかを確認する際に、電子黒板上にマーカーで色分けをし、子どもの理解を促した。(電子黒板)
- ・ 発表をする際に、子どもが書いた発表物をスキャナで取り込み、電子黒板上に映して発表の手助けとした。(電子黒板)

5 実践の様子

- ① 物語の理解をする場面では、電子黒板で大切なところを拡大したり、大切なところをマーカーで色付けをしたりして、視覚的に分かりやすく提示した。これによって、子どもたちは学習に意欲的に取り組むことができた。
- ② 登場人物の気持ちを考える際に、初めから言葉で書くのではなく、気持ちを表す顔を描いた。これにより、全員が考えをもつことができた。(資料1)
- ③ 電子黒板を活用して、発表活動をした。子どもが発表に必要であると考えたものを写真に撮ったり、スキャナで読み込んだりして、電子黒板上に映し出し、発表の材料として活用した。これにより、子どもたちは自信をもって発表することができた。(資料2)



資料1 表情マーク



資料2 発表する子ども

6 成果と課題

- 理解をする場面で、電子黒板を活用し、大切なところを拡大したりマーカーで色付けをしたりしたことで、視覚的に分かりやすく提示することができた。また、誰がどのせりふを言っているのか理解することができた。
- 電子黒板を活用して、子どもが考えた資料を提示しながら発表を行ったことで、子どもたちは自信をもって発表することができた。
- 気持ちを考え、発表する場面では、自信をもって発表できた子どもが多かったが、中には、大きな声でみんなの方を向いて発表できなかった子どももいた。